

# 最近の製品事故と 事故防止のポイント

# 最近の「脚立」「踏み台」事故事例

## 【事故事例1】 「脚立」

昇降面が壁面に水平になるように脚立を設置し、踏ざんにまたがって作業しようとしたところ、脚立の片側の支柱が曲折して転落、左腕とう骨を骨折した。（調査中）  
（2007年6月 東京都）

## 【事故事例2】 「脚立」

民家の庭で、剪定作業をしていた男性がバランスを崩して高さ2.5mの脚立から転落し、石で頭を打ち脳挫傷の重傷を負った。（調査中）  
（2007年8月 山形県）

## 【事故事例3】 「踏み台（折りたたみ式）」

女兒が、広げて置いてあった踏み台を閉じようとして、左手中指を切断した。（調査中）  
（2007年7月 東京都）

2007年度、8月までにNITEへ通知された

「脚立」「はしご」「踏み台」の事故情報件数(※)

6件

(※：重複情報を除く。)

# 2002年度から2006年度の間にNITEへ通知された「脚立」の事故情報件数と被害状況

「脚立」の事故情報 35件



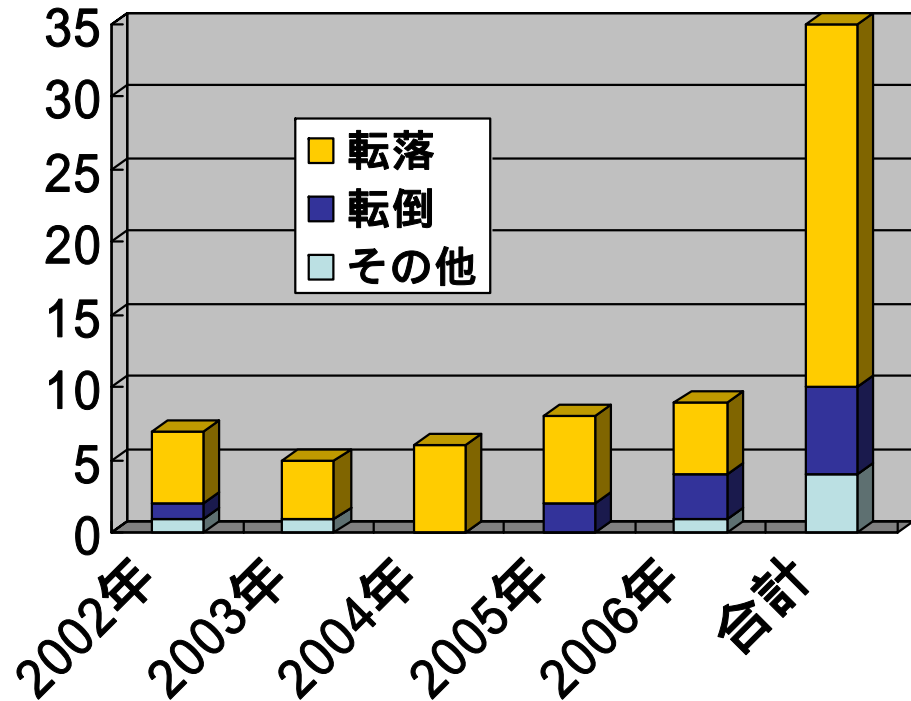
庭木の剪定、塗装、修理などの作業中に



転落・落下	26件
転倒	6件
その他	3件



死亡	9件
重傷（骨折など）	12件
ケガ・打撲など	11件



# 過去の「脚立」事故事例と事故原因

## 【事故事例1】

脚立の天板に立って自宅の壁を塗り替えていたところ、バランスを崩して落下、太股に裂傷を負った。  
(2004年12月 奈良県)

## 【事故原因】

被害者が天板の上に立ち、壁の右端を塗ろうと右手を伸ばしたところ、バランスを崩して落下したものと推定される。

## 【事故事例2】

男性が脚立を使用中に、脚部が閉じ、床に転落して右足かかとを骨折した。  
(2004年8月 神奈川県)

## 【事故原因】

被害者が脚立と下駄箱に足を掛けて作業していたため、脚立の開き止め金具が変形して脚部が閉じ、落下したものと推定される。

## 【事故事例3】

脚立の下から3段目の踏みざん上で作業中、突然、両支柱がくの字に曲がったために落下し、左肋骨を骨折した。  
(2004年12月 山梨県)

## 【事故原因】

被害者が設置場所が不安定な場所で片手で電動工具を使用し、工具を押しつけた反動により身体のバランスを崩して転倒・落下したものと推定される。



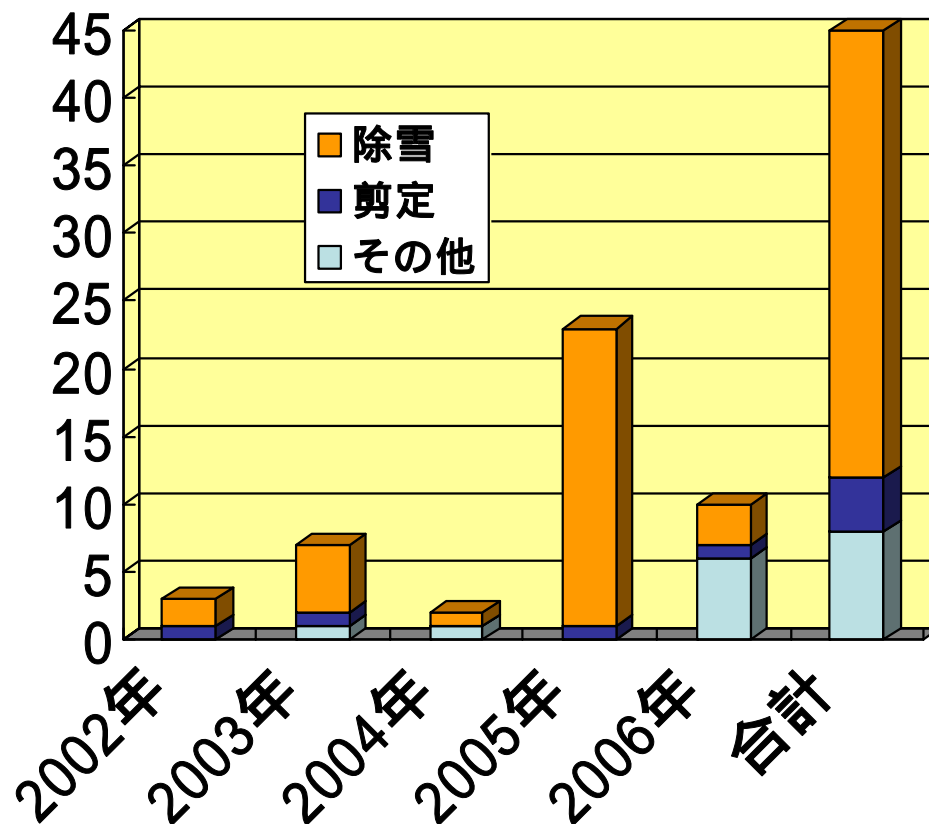
# 2002年度から2006年度の間にNITEへ通知された「はしご」の事故情報件数と被害状況

「はしご」の事故情報 45件

除雪作業、庭木の剪定などの作業中に

転落・落下 43件  
その他 2件

死亡 10件  
重傷（骨折など） 22件  
ケガなど 11件



# 過去の「はしご」事故事例と事故原因

【事故事例1】  
男性が神社の屋根の除雪中に転落し、腰を骨折した。  
(2006年1月 山形県)

【事故原因】  
はしごから神社の屋根に乗り移ろうとした際、足を滑らせたため、はしごと落ちたものと推定される。

【事故事例2】  
男性が自宅車庫の屋根の除雪中に転落し、胸にけがを負った。  
(2006年1月 石川県)

【事故原因】  
車庫の屋根にはしごに乗った状態で除雪していたところ、はしごが外れ、はしごと地面に転落したものと推定される。

【事故事例3】  
男性が自宅風除室の屋根雪を除雪するために、はしごを上っていた際、滑ったはしごと地面に転落し、頭に軽いけがをした。  
(2007年1月 青森県)

【事故原因】  
自宅の屋根の除雪をしようとはしごを登っていたところ、はしごが屋根から滑ったため、はしごと共に転落したものと推定される。

# 「はしご」事故防止の注意ポイント



安全と安心の信頼マーク  
部会基準認定品 < Aマーク >

©軽金属製品協会  
©はしご部会

## 選び方

ご使用の場所や用途に合わせて、種類・タイプを選んでください。

# はしご

## 使い方

取組書の取組方法に準拠し、正しい方法で、十分注意してください。

**◆種類**

**◆A型はしご**

- 2本の脚を折り合わせて使う可  
使わない場合は  
●使用長さが4m以下

**◆1本はしご**

- 横立て、一定の長さのみで使う可  
●使用長さが2m未満

◆はしごの立て方が間違えば  
約75度  
◆はしごは必ず大人が**補助**が  
要する

75°

**◆タイプの選び方**

●作業までの高さ 作業からの高さまでの長さ

作業までの高さ	作業からの高さまでの長さ
7m以下	8m以下
6m以下	7m以下
5m以下	6m以下
4m以下	5m以下
3m以下	4m以下
2m以下	3m以下

反転中の横に身体を  
動かさない!

反転するときや  
降下するとき、  
足場面に注意  
する

付属の取扱説明書を必ずお読みの上、ご使用ください。



# 「踏み台」事故事例と事故原因

## 【最近の事故事例】

女兒が、広げて置いてあった踏み台を閉じようとして、左手中指を切断した。（調査中）

（2007年7月 東京都）

2002年から2006年の間に

NITEへ通知された「踏み台」の事故情報件数 7件

## 【過去の事故事例】

自宅前のスロープで、踏み台を使用していたところ、突然、踏み台の脚が折れ、頭から地面に落下して右半身強打などで全治3週間のけがをした。

（2006年8月 東京都）



## 【事故原因】

踏み台を勾配のある場所に設置して天板上で作業していたことから、バランスを崩して踏み台の上に落下したため、支柱が破損したものと推定される。

# 「踏み台」事故防止の注意ポイント



安全と安心の信頼マーク  
部会基準認定品 < Aマーク >

◎ 軽金属製品協会  
◎ はしご脚立部会

※ 軽金属製品協会（JALMP）部会認定品

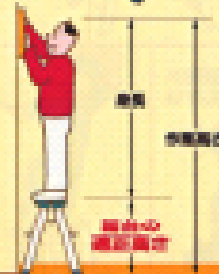
## 選び方

ご自身の用途の目的に合わせて、種類・タイプを選んでください。



### 種類

- 上むくの踏台
  - 脚部を折り倒して収納ができる
- 踏台
  - 幅広で、足場が広いタイプ



### タイプの選び方

- 身長と使用高さが  
約10cm以上ある  
(身長、使用高とも)

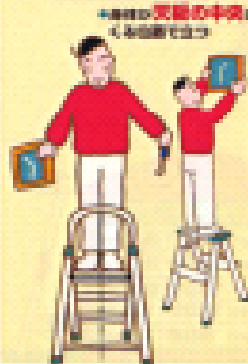
# 踏 台

## 使い方

取組む作業方向に  
注意し、正しい姿勢で、  
十分注意してください。



● 開き口の向きは、  
確実に反対方向に  
開くようにする



● 作業の  
足踏の中央に  
くる位置で立つ



● 身体を振り回さない



● 脚部を無理に押しつぶさず  
正しいDLDL

付属の取扱説明書を必ずお読みの上、ご使用ください。

# 最近の「乾電池」「ボタン電池」事故事例

【事故事例1】（2007年8月 不明）  
ポータブルオーディオをポケットに入れて使用していたところ、乾電池から液が漏れて太腿に火傷を負った。（調査中）

【事故事例2】（2007年8月 佐賀県）  
目覚まし時計を乾電池を入れるふたがないまま使用中、乾電池が外れそうになっていたため指で押し込んだところ、乾電池が発熱しており、指に火傷を負った。（調査中）

【事故事例3】（2007年4月 京都府）  
ライト付き防犯ブザーのライトが点灯せずブザー音も鳴らないので、ボタン電池を取り出したところ、突然破裂した。（調査中）

【事故事例3】（不明 大阪府）  
使用済みのボタン電池を樹脂製のかごに入れて、台の上に置いていたところ、その付近から炎が出た。（調査中）

2007年度、8月までにNITEへ通知された

「乾電池」「ボタン電池」の事故情報件数（重複情報を除く） 10件

# 2002年度から2006年度の間にNITEへ通知された 「乾電池」「ボタン電池」事故情報件数

「乾電池」「ボタン電池」の事故情報 11件

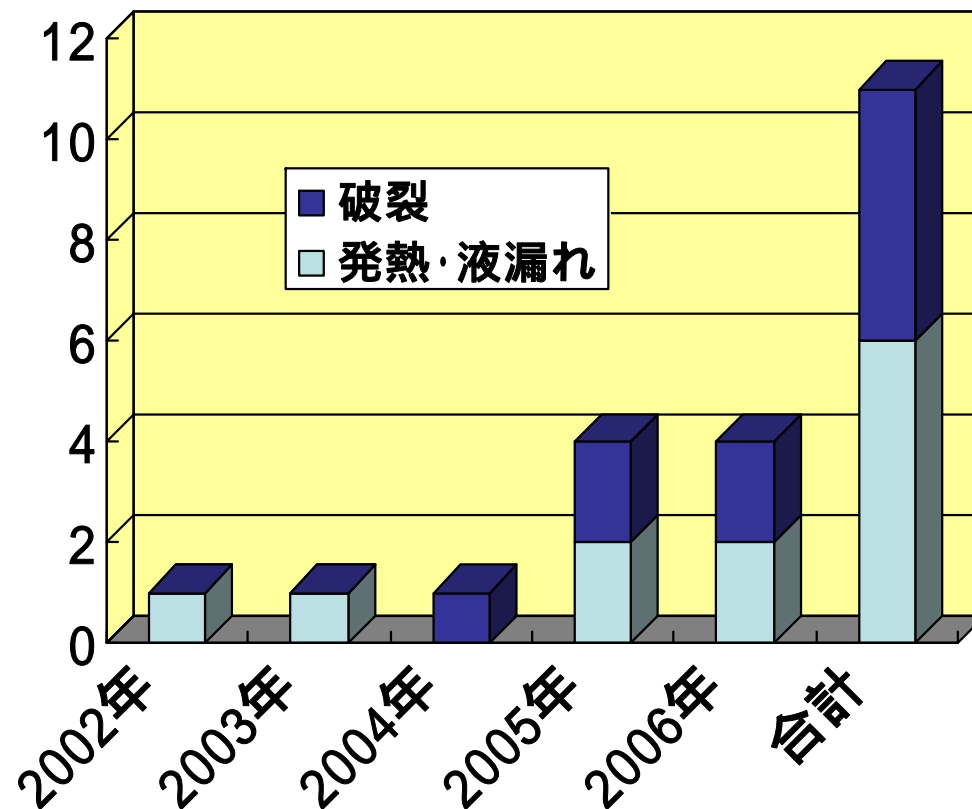


「乾電池」	9件
「ボタン電池」	2件



発熱・液漏れ	6件
破裂	5件

電解液による火傷	3件
----------	----



# 過去の「乾電池」「ボタン電池」事故事例と原因

## 【事故事例1】

家人がガスこんろの電池を交換したところ、異常な音と白煙が発生した。

(2005年5月 兵庫県)

## 【事故原因】

電池ケース内の乾電池1個が逆装填の状態であったことから、過電流が流れ、発熱し、破裂防止の安全弁が作動したものと推定される。

## 【事故事例2】

ライト付き防犯ブザーのボタン電池を取り出しテーブルに置いたところ、4個のうちの1個が突然破裂した。

(2005年11月 三重県)

## 【事故原因】

ボタン電池をライト付き防犯ブザーに装填された容量が少ない電池が過放電となり、内部でガスが発生して内圧が上昇し破裂したものと推定される。

## 【事故事例3】

懐中電灯からボタン電池を取り出し、ポケットに入れていたら、4つのうち1つが破裂した。

(2007年3月 埼玉県)

## 【事故原因】

残量の少ないボタン電池4個を、裸でポケットに入れたため、電池がショートして破裂したものと推定される。

# 「乾電池」「ボタン電池」事故防止の注意ポイント

- ①種類や銘柄の異なる電池を混ぜて使用しない
- ②プラス、マイナスを正しく使う
- ③ショートさせない
- ④乾電池は充電しない
- ～以上、発熱、液漏れ、破裂の原因になる
- ⑤電池は全部まとめて取り替える
- 液漏れの原因になる
- ⑥電池の液がついたり、目に入ったときはすぐにきれいな水で洗い流す
- 皮膚障害や失明の危険がある
- ⑦電池を放置しない
- 子供の誤飲の危険がある

# 最近の「IHコンろ(電磁調理器)」事故事例

【事故事例1】 (2007年5月 大阪府)  
IHクッキングヒーターにサラダ油を少量入れた片手鍋をかけ、  
タイマーをセットして加熱スイッチを入れ、その場を離れていたところ、  
炎が上がり台所の側壁を焼損した。(調査中)

【事故事例2】 (2007年6月 山口県)  
ビルトインクッキングヒーターのラジエントヒーター式コンろ  
で専用天ぷらなべを使って調理中、油が発火した。(調査中)

2007年度、8月までにNITEへ通知された  
「IHコンろ(電磁調理器)」の事故情報件数(※) 10件  
(※:重複情報を除く。)

# 2002年度から2006年度の間NITEへ通知された「IHこんろ(電磁調理器)」事故情報件数

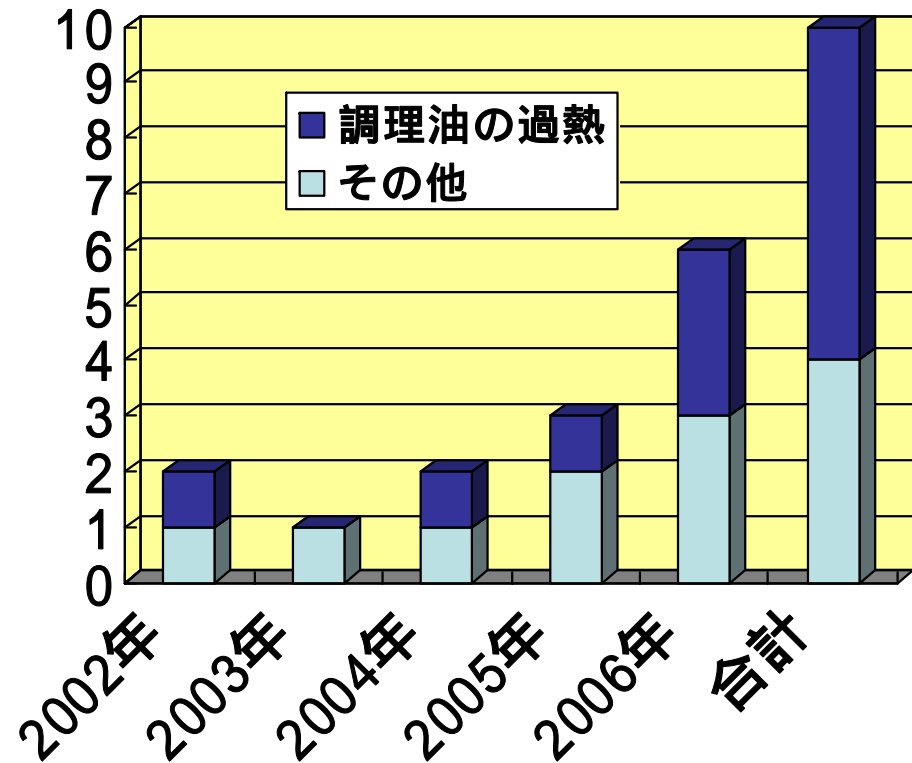
「IHこんろ」の事故情報 14件



調理油の過熱	6件
その他	8件



調理中になべ等を放置  
少量の調理油で調理





# 過去の「IHこんろ(電磁調理器)」事故事例と事故原因

## 【事故事例1】

マンション1階の一室の台所から出火、レンジフード内の吸気フィルターを焼き、家人が顔と両手に軽い火傷を負った。(2005年2月 青森県)

## 【事故原因】

天ぷら鍋に油を入れ、電磁調理器で早く温度を上げるためにふたをして10分ほど放置したため、油が過熱し、出火したものと推定される。

## 【事故事例2】

電磁調理器で揚げ物調理中にその場を離れていたところ、天ぷら油が発火した。(2006年8月 埼玉県)

## 【事故原因】

揚げ物調理の際に、付属の天ぷら鍋を使わず、鍋底の小さい市販の片手なべを使用し、天ぷら油の油量が少なかったことから、本体の温度センサーの温度検知が正常に働かず、天ぷら油が過熱し、発火したものと推定される。

## 【事故事例3】

13階建て集合住宅の12階の台所で、天ぷら鍋の油が発火した。(2006年4月 宮城県)

## 【事故原因】

電磁調理器に約80ミリリットルの天ぷら油を入れたフライパンをかけたまま放置したため、天ぷら油が過熱し、火災に至ったものと推定される。

# 「IHコンろ(電磁調理器)」事故防止の注意ポイント

- ①天ぷら、揚げ物調理の際はIHコンろから離れない
- ②温度センサーの特性を理解して使用する  
温度検知のタイムラグの発生
- ③使用に適したなべを使用する